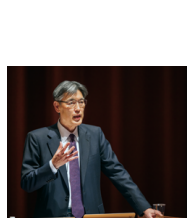


No.1267 (2022年6月号)

特集

SDGs時代の企業の社会性

KEIO PHOTO REPORT



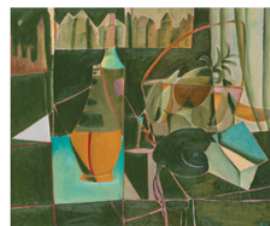
福澤先生ウェーランド経済書講述記念講演会

撮影：竹松明季

三田評論

特集

SDGs時代の企業の社会性



慶應義塾

— 表紙絵：清川泰次 —

税込価格：451円（本体410円） 在庫あり

定期購読：4,700円（税・送料込）

在庫について

配送料について

特集 SDGs時代の企業の社会性

SDGsという言葉を目にすることが多くなりました。一方、企業の社会性については、CSR（企業の社会的責任）と言われる以前から、その重要性が指摘され、社会の中の企業ということが言われてきました。SDGs時代となり、企業の社会性はどのように問われるようになったのか。サステナブルに経営するために、現在、何が必要なのか。あらためて考える特集です。



座談会 — サステナブルな経営に欠かせない企業の社会性とは

小沼泰之 | 株式会社東京証券取引所取締役専務執行役員・塾員

村田善郎 | 株式会社高島屋代表取締役社長・塾員

渡辺林治 | リンジーアドバイス株式会社代表、東京大学大学院医学系研究科特任講師・塾員

茂木 修 | キッコーマン株式会社取締役専務執行役員国際事業本部長・塾員

岡本大輔（司会） | 慶應義塾大学商学部教授、同商学部長

関連記事



2022年におけるSDGsとそのインプリケーション——ビジネス倫理学からの逡巡

梅津光弘 | 慶應義塾大学商学部教授

日本の伝統はSDGsの本質——その原点から経営を考える

矢島里佳 | 株式会社和える代表取締役・塾員

老舗染色工場が進めるSDGs

朝倉剛太郎 | 朝倉染布株式会社代表取締役社長・塾員



話題の人 — 家具インテリア業界に新風を吹かせる



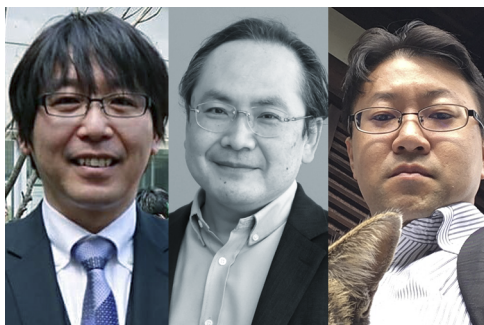
北村甲介さん

株式会社リビングハウス代表取締役社長・塾員

インタビュアー：関口暢子（H2Oリテイリング株式会社社外取締役監査等委員・塾員）

大阪を拠点に家具インテリア販売で躍進を続けるリビングハウス。慶應義塾で学び、三代目として同社を率いる北村さんは、パンデミックの中で市場の変化を見つめ、新しい試みを打ち出してきました。競争の激しい業界で、高感度のユーザーに訴求し続ける独自の視点と、おしゃれな空間価値創造の可能性についてお聞きました。

三人閑談 — 歴史のなかの猫たち



今や空前の猫ブーム。スマホを開ければあちこちに、誰かが上げた猫の面白い動画で溢れています。そのように天下を取った猫は果たして昔から人気ものであったのか？ 江戸、明治、昭和と移り変わる世相の中で、ニャンとも世知辛い世間の荒波をどうやってかいくぐってきたのか？ ライバル犬との比較もふんだんに語り合います。

真辺将之 | 早稲田大学文学学術院教授

金子信久 | 府中市美術館学芸員・塾員

志村真幸 | 南方熊楠顕彰会理事・塾員

演説館

近代日本の名作・神宮外苑の危機

石川幹子

齋藤秀彦

From Keio Museums・3 紙面の奥に流れる生きられた時間

渡部葉子

慶應義塾体育会の軌跡 第10回 名将・腰本寿／野球部Ⅰ

横山 寛

新慶應義塾豆百科64 連合三田会大会

その他

巻頭随筆 丘の上

ハワイから宇宙を探る 岡 慎司

多磨全生園での試合の思い出 種田吉富

ハンドボールとの40年 平林義規

執筆ノート

『砂まみれの名将——野村克也の1140日』 加藤弘士

『インテンション——行為と実践知の哲学』（G・E・M・アンスコム著） 柏端達也（訳）

『台湾で日本人を祀る——鬼（クイ）から神（シン）への現代人類学』 三尾裕子（編著）

『入門講義 戦後国際政治史』 森 聡（共編）

Researcher's Eye

極北から領土紛争を考える 武井良修

コロナ禍での看護学研究 深堀浩樹

成長を支える他者との関わり 金子恵美子

塾員クロスロード

楽都づくり 庄司 遥

女子学生の可能性を引き出す 大石真子

社中交歓

紫蘇 古賀良彦、工藤隆哉、穂坂匡昭、大久保光哉

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう慶應義塾の取り組みについて

慶應義塾教育充実資金へのご支援のお願い



理工学研究科委員長 斎木敏治君 山本詠士

追想

松本憲先生を偲んで 米山光儀

ヒサクニヒコのマンガ何でも劇場、寸描（山崎信寿）、山上広場、塾長室日誌（2022年4月）、塾内ニュース、三田会だより、慶應〃塾、語事典、寄付・維持会申込者芳名

一覧を見る



前号紹介

—— 2022年5月号 No.1266

特集 日韓関係の展望

さらに詳しく見る

次号予告

—— 2022年7月号 No.1268

特集 国際秩序のゆくえ

さらに詳しく見る

慶應義塾維持会



母校を思う塾員と篤志家の皆様により、義塾の教育研究活動を財政支援する目的で設立された1世紀余の歴史を有する組織です。
会員の皆様にはご加入期間『三田評論』を贈呈いたします。

さらに詳しく見る

BOOKS

慶應義塾大学関連の書籍



明治31年から続く慶應義塾の機関誌

三田評論とは

次号

前号

バックナンバー

購読方法



三田評論
ONLINE

Keio University Press
慶應義塾大学出版会

慶應義塾
Keio University

[ご利用ガイド](#) [プライバシーポリシー](#) [リンク](#) [会社概要](#)

[三田評論オンライン](#) [慶應義塾Webサイト](#) [慶應大学出版会](#)

明治31年3月創刊（毎月1回1日発行）
発行：慶應義塾

Copyright © Keio University Press Inc. All rights reserved.